

2021年3月期第2四半期 決算説明会 Q&Aサマリー

Q1: 第2四半期（3か月）におけるT&M需要のドライバを具体的に教えてください。

A1: アジア地域における5G商用化に向けた開発需要と、データセンター等でのネットワーク高速化に向けた開発・生産需要です。

Q2: 第2四半期（3か月）におけるT&M事業のサブセグメント別売上比率を教えてください。

A2: モバイル：55%、ネットワークインフラ：30%、エレクトロニクス：15%です。

Q3: 第2四半期（3か月）の「販売費および一般管理費」が前年同期比で6%減っている理由と、今後の見通しを教えてください。

A3: 展示会等の販促費や出張費等の旅費交通費の減少が主な理由です。現在の新型コロナウイルスの感染状況が緩やかに改善されることを前提として営業活動を計画しているため、第3四半期以降は上半期と比較して経費は増加する見込みです。

Q4: IABの策定はアンリツのビジネスにどのように影響するのか教えてほしい。

A4: ミリ波は既にバックホールでも使われておりIABを導入するための技術的なハードルは低いです。IABの導入により、バックホール設備を基地局で代替できるため基地局の数を容易に増やせます。当社にとっては基地局の建設・保守のビジネスチャンスが増えることが期待できます。

Q5: アンリツとしてローカル5Gのビジネスチャンスをどのように獲得していくのか教えてください。

A5: ローカル5Gの実現にはリリース16の特徴である超高信頼性低遅延通信の導入が重要であり、リリース16対応の製品を早期に提供することと、より幅広い顧客層へ対応するため営業力を強化することが肝要と考えています。